

コミュニケーション英語Ⅱ
Revised ENGLISH NOW English Communication II
評価規準（例）

Lesson 1 My Hometown

（配当時数：6 時間）

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(B) p.4 の Warm-Up Listening として、スクリプトの音声を聞き、地図を見ながら ALT のベーカー先生の出身地と住んでいた州を理解する。	ベーカー先生の故郷がどんな町か意欲的に聞き、適切に選ぶことができる。	○		○		ベーカー先生の故郷がどんな町かを理解するために、意欲的に聞く。また、適切に質問に答えることができれば○と評価する。
(B) p.5 の本文を読み、ベーカー先生の故郷の町のいろいろな情報を理解する。	ベーカー先生の故郷の様子の要点をつかみながら読み取ることができる。			○		ベーカー先生の故郷の概要や要点をつかんでいるかを確認する。適切に理解し、英語で話していれば○と評価する。
(B) pp.6-7 のベーカー先生と春香の対話において、その概要や要点をつかみながら読み取る。	2 人の対話の概要や要点をつかみながら読み、ベーカー先生の故郷について読み取ることができる。			○		2 人の対話の概要や要点をつかんでいるかを確認する。適切に理解し、英語で話していれば○と評価する。
(B) レッスン全体の概要を理解し、英語で要約する。	レッスン全体の概要を理解し、英語で要約するために適切な語句を選び、音読することができる。		○	○		ペアまたはグループになり、レッスン全体の要約を完成し、適切に音読できれば○と評価する。また、各自の加えたい 1 文について、意見交換する。
(A) 現在完了進行形〈have [has] been ~ing〉の意味と用法を理解する。	現在完了進行形〈have [has] been ~ing〉の意味と用法を理解し、適切な語句を選ぶことができる。				○	p.8 の DRILL で過去形か現在完了進行形かを適切に選び、発表できれば○と評価する。
(B) p.9 の PRACTICE 2 として、自分の趣味や得意なことを英語で伝える。	自分の趣味や得意なことを英語で伝えることができる。		○			自分の趣味や得意なことを英語で伝えるために、英語で発表できれば○と評価する。
(B) pp.10-11 の ACTIVITY でペアまたはグループになり、英文を読んでベーカー先生の故郷の概要を整理する。	ペアまたはグループになり、ベーカー先生の故郷の概要を整理することができる。			○		ペアまたはグループになり、ベーカー先生の故郷の概要を整理し、発表できれば○と評価する。
(B) pp.10-11 の ACTIVITY でペアまたはグループになり、各自が住んでいるところや、行きたいところについて紹介する。	ペアまたはグループになり、各自が住んでいるところや、行きたいところについて紹介することができる。		○			各自が住んでいるところや、行きたいところについての紹介文を作り、英語で発表できれば○と評価する。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(B) p.12 の Warm-Up Listening として、スクリプトの音声を聞き、カードの説明を理解する。	カードの説明についての英文を聞き、内容を正しく聞き取り、選ぶことができる。	○		○		カードの説明を聞いて、内容について確認する。適切に内容を理解し、正しい答えを選択していれば○と評価する。カードにどのような文字が書かれているかをリスニングの前に推測させることもできる。
(B) p.13 の対話文を読み、漢字の表す意味を、英語のアルファベットを用いて表現できることを理解する。	漢字の表す意味を、英語のアルファベットを用いて表現できることを理解し、英語で話すことができる。		○	○		漢字の表す意味を、英語のアルファベットを用いて表現できることを理解し、英語で話すことができれば○と評価する。
(B) pp.14-15 の本文を読み、國重友美さんがいつ「英漢字」を作成し、春香は「英漢字」を作成し、春香は「英漢字」についてどのように思っているかを理解する。	國重友美さんがいつ「英漢字」を作成し、春香は「英漢字」についてどのように思っているかを理解し、英語で話すことができる。		○	○		國重友美さんがいつ「英漢字」を作成したか、また、春香は「英漢字」についてどのように思っているかを理解し、英語で話していれば○と評価する。また、ペアやグループで英漢字を作ることや、有名な英語圏の人物の名前を漢字にするなどし、その内容を発表させる発展活動もできる。
(B) レッスン全体の概要を理解し、英語で要約する。	レッスン全体の概要を理解し、英語で要約するために適切な語句を選び、音読することができる。		○	○		ペアまたはグループになり、レッスン全体の要約を完成し、適切に音読できれば○と評価する。また、各自の加えたい1文について、意見交換する。
(A) 過去完了形 (had+過去分詞) の意味と用法を理解する。	過去完了形 (had+過去分詞) の意味と用法を理解し、適切な語句を選ぶことができる。				○	p.16 の DRILL で過去形、現在完了形または過去完了形を適切に選び、発表できれば○と評価する。
(B) pp.18-19 の ACTIVITY でペアまたはグループになり、日本の文化や伝統、日本的なものについて英語で説明する。	ペアまたはグループになり、日本の文化や伝統、日本的なものについて英語で説明することができる。	○	○			ペアまたはグループになり、日本の文化や伝統、日本的なものについて英語で説明し合うことができる。また、用意した実物や写真などを利用し、クラス全体に show and tell の発表をすることができれば○と評価する。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(B) p.22 の Warm-Up Listening として、スクリプトの音声を聞き、話題になっている図書館の場面を理解する。	スクリプトの音声をとおして、話題になっている図書館の場面を理解し、英語で話すことができる。	○		○		図書館の絵を見て、内容を確認する。関心をもってスクリプトの音声を聞き、適切な場面を選ぶことができれば○と評価する。
(B) pp.23-24 の本文を読み、読書介助犬が図書館でどのような活躍をしているか理解する。	読書介助犬が図書館でどのような活躍をしているか理解し、英語で話すことができる。			○		読書介助犬が図書館でどのような活躍（読み聞かせプログラム）をしているか理解し、英語で話すことができれば○と評価する。
(B) pp.24-25 の本文を読み、図書館での読み聞かせプログラムがどのようにして始まり、子どもがどのように変わっていったかを理解する。	図書館での読み聞かせプログラムがどのようにして始まり、子どもがどのように変わっていったかを理解し、英語で話すことができる。			○		図書館での読み聞かせプログラムがどのようにして始まり、子どもがどのように変わっていったかを理解し、英語で話すことができれば○と評価する。
(B) レッスン全体の概要を理解し、英語で要約する。	レッスン全体の概要を理解し、英語で要約するために適切な語句を選び、音読することができる。		○	○		ペアまたはグループになり、レッスン全体の要約を完成し、適切に音読できれば○と評価する。また、retelling の橋渡しの活動として、read and look up を用いて口頭で伝え合うことにも取り組ませる。
(A) 知覚動詞 〈S+V+O+～ing〉 と 〈S+V+O+動詞の原形〉 の意味と用法を理解する。	知覚動詞 〈S+V+O+～ing〉 と 〈S+V+O+動詞の原形〉 の意味と用法を理解し、適切に並べかえて英文を作ることができる。			○		知覚動詞 〈S+V+O+～ing〉 と 〈S+V+O+動詞の原形〉 の意味と用法を理解し、p.26 の DRILL で適切に並べかえて英文を作ることができれば○と評価する。
(B) pp.28-29 の ACTIVITY で、読書介助犬のプログラムを取り入れた小学校の校長と日本の高校生のインタビューを理解する。	読書介助犬のプログラムを取り入れた小学校の校長と日本の高校生のインタビューを理解することができる。	○		○		読書介助犬のプログラムを取り入れた小学校の校長と日本の高校生のインタビューを理解し、質問に適切に答えられれば○と評価する。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

Reading 1 Why Did Grandpa Become a Ghost?

(配当時数：7 時間)

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(B) pp.31-32 の本文を読み、教科書の質問に答えながら、登場人物の気持ちと行動やその理由を理解する。	教科書の質問に答えながら内容を正しく理解し、登場人物の気持ちと行動やその理由を理解することができる。			○		教科書の質問に答えながら内容を正しく理解し、登場人物の気持ちと行動やその理由を理解し、英語で話すことができれば○と評価する。
(B) pp.31-32 の本文を登場人物の気持ちが伝わるように音読する。	登場人物の気持ちが伝わるように、適切に音読することができる。		○			登場人物の気持ちを表現するように、CD の音声に近いリズムや抑揚で音読できていれば○と評価する。
(B) pp.32-34 の本文を読み、教科書の質問に答えながら、登場人物の気持ちと行動やその理由を理解する。	教科書の質問に答えながら内容を正しく理解し、登場人物の気持ちと行動やその理由を理解し、英語で話すことができる。			○		教科書の質問に答えながら内容を正しく理解し、登場人物の気持ちと行動やその理由を理解し、英語で話すことができれば○と評価する。
(B) pp.32-34 の本文を登場人物の気持ちが伝わるように音読する。	登場人物の気持ちが伝わるように、適切に音読することができる。		○			登場人物の気持ちを表現するように、CD の音声に近いリズムや抑揚で音読できていれば○と評価する。
(B) After Reading として、自分の選んだ絵とそれにつながる英文について、登場人物の気持ちが伝わるように、適切に音読する。	自分の選んだ絵とそれにつながる英文について、登場人物の気持ちが伝わるように、適切に音読することができる。		○			After Reading の活動をとおして完成した説明文を個々に読む練習をし、適切に音読できていることを確認する。その後、グループで発表し、登場人物の気持ちを表現するよう音読できていれば○と評価する。
(B) 気に入った場面の対話部分を、登場人物の心情が伝わるように音読する。	気に入った場面の対話部分を、登場人物の心情が伝わるように音読することができる。	○	○			ペアで登場人物の気持ちを話し合った後、登場人物の気持ちを表現するような声の大きさや速度、またリズムやイントネーションで音読できていれば○と評価する。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

Let's Communicate 1 必要な情報を集めよう

(配当時数：2時間)

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(B) 本文に書かれているパンフレットの概要や要点を正しく理解する。	本文に書かれているパンフレットの概要や要点を正しく理解できる。			○		ペアでパンフレットの内容を要約し、概要をメモに書き、正しく理解できていれば○と評価する。
(B) パンフレットをもとに、各コースのスケジュールを完成する。	グループで本文の情報を読み取り、本文の内容に合わせて、各コースのスケジュールを完成することができる。		○	○		p.37のSTEP②についてグループで話し合い、パンフレットの内容に合わせた時間や金額などが書かれていれば○と評価する。また、それ以外の行きたい場所、買いたいもの、作りたいものをグループで話し合い、決める応用活動もさせることができる。
(B) 完成した各コースのスケジュールを発表する。	グループで積極的に話し合っってスケジュールを作成し、協力しながら発表することができる。	○	○			STEP②で作成したスケジュールをグループで分担して発表し、互いに協力しながら発表できれば○と評価する。また、自分たちの行きたいコースについて、その理由も発表させる。
(B) 自分の町や修学旅行で行く町 [行きたい町] のパンフレットを作成する。	本文を参考にして、自分の町や修学旅行で行く町 [行きたい町] の観光パンフレットを適切に作成することができる。	○	○			本文を参考に、グループでインターネットや日本語の観光ガイドを利用し、自分の町や修学旅行で行く町 [行きたい町] についての英語の観光パンフレットを作成し、的確に情報が伝えられれば○と評価する。また、英文にまとめた内容をクラスで発表させ、的確に情報を伝えることができているかを確認する。英文を書いて編集し、ニューズレターを発行して評価することもできる。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(B) p.38 の Warm-Up Listening として、スクリプトの音声を聞き、外国人旅行者数についての説明を理解する。	グラフの内容を説明している英語を聞き、正しく国名を理解することができる。	○		○		グラフの内容を説明している英語を聞き、正しく国名を理解することができれば○と評価する。
(B) p.39 の本文を読み、外国人旅行者が抱く気持ちを理解する。	外国人旅行者が抱く気持ちを理解し、英語で話すことができる。			○		外国人旅行者が抱く気持ちを理解し、英語で話していれば○と評価する。
(B) pp.40-43 の本文を読み、4人の外国人旅行者が、どのようなことに驚いたり感心したりしたのかを理解する。	4人の外国人旅行者が、どのようなことに驚いたり感心したりしたのかを理解し、英語で話すことができる。			○		4人の外国人旅行者が、どのようなことに驚いたり感心したりしたのかを理解し、英語で話していれば○と評価する。
(B) 外国人が不思議だと思う日本の事柄について理解を深める。	ペアまたはグループになり、外国人が不思議だと思う日本の事柄について話したり、インターネットなどで調べたりして、その情報を的確に伝えることができる。	○	○	○		外国人が不思議だと思う日本の事柄を、教科書以外の例についてインターネットなどを利用してグループで調べて話し合い、的確に情報を伝え合うことができていることを確認する。その後、話し合った内容を英語でまとめ、情報が的確に表現されていれば○と評価する。
(B) レッスン全体の概要を理解し、英語で要約する。	レッスン全体の概要を理解し、英語で要約するために適切な語句を選び、音読することができる。		○	○		ペアまたはグループになり、レッスン全体の要約を完成し、適切に音読できれば○と評価する。
(A) It is ~ that ... の意味と用法を理解する。	It is ~ that ... の意味と用法を理解できる。				○	It is ~ that ... の意味と用法を理解し、p.44 の DRILL で与えられた語を用いて意味の通る英文が作れていれば○と評価する。
(B) pp.46-47 の ACTIVITY で、4人の外国人のインタビューを聞いて、要点を書き取る。	4人の外国人のインタビューを聞いて、要点を書き取ることができる。			○		4人の外国人のインタビューを聞いて、要点を書き取り適切に意見交換できれば○と評価する。
(B) 4人の外国人のインタビューを聞いて内容をまとめ、自分の意見を言う。	4人の外国人のインタビューを聞いて内容をまとめ、自分の意見を言うことができる。	○	○			4人の外国人のインタビューを聞いて内容をまとめ、自分の意見を理由と共に英語で言えれば○と評価する。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(B) p.48 の Warm-Up Listening として、スクリプトの音声を聞き、内容に合う適切な写真を選択する。	スクリプトの音声を聞き、内容に合う適切な写真を選択することができる。	○		○		スクリプトの音声を聞き、内容に合う適切な写真を選択することができれば○と評価する。
(B) p.49 の本文を読み、話す相手との心地よい距離について理解する。	話す相手との心地よい距離について理解し、英語で話すことができる。			○		話す相手との心地よい距離について理解し、英語で話していれば○と評価する。
(B) pp.50-51 の本文を読み、パーティーに出席していた日本人とイタリア人に、どんなことが起きたのかを理解する。	パーティーに出席していた日本人とイタリア人に、どんなことが起きたのかを理解し、英語で話すことができる。			○		パーティーに出席していた日本人とイタリア人に、どんなことが起きたのかを理解し、英語で話していれば○と評価する。
(B) パーソナルスペースについての理解を深める。	文化により、パーソナルスペースが異なることに関心をもち、積極的に理解し、英文にまとめることができる。	○	○			本文で紹介された「パーソナルスペース」について、グループでなぜ文化により異なっているのかについて議論し、その内容を発表する。その際、グループのメンバーの中でもパーソナルスペースが異なっているか否かについても議論させたい。また、その内容を英文でまとめて発表できれば○と評価する。
(B) レッスン全体の概要を理解し、英語で要約する。	レッスン全体の概要を理解し、英語で要約するために適切な語句を選び、音読することができる。		○	○		ペアまたはグループになり、レッスン全体の要約を完成し、適切に音読できれば○と評価する。
(A) 関係代名詞 what の意味と用法を理解する。	関係代名詞 what の意味と用法を理解し、英語で話すことができる。				○	関係代名詞 what の意味と用法を理解し、p.52 の DRILL で意味の通る英文に並べかえることができれば○と評価する。
(B) pp.54-55 の ACTIVITY として、ペアまたはグループで、いろいろな場面でのパーソナルスペースについて話し合う。	ペアまたはグループで、いろいろな場面でのパーソナルスペースについて話し合うことができる。	○	○			ペアまたはグループで、いろいろな場面でのパーソナルスペースについて話し合うことができ、英語で発表できれば○と評価する。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

Lesson 6 Rakugo Goes to the U.S.

(配当時数：6 時間)

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(B) p.58 の Warm-Up Listening として、アメリカの女子高校生、ジョイスの話を理解する。	ジョイスが話している内容について、理解することができる。	○		○		ジョイスが話している内容について、正しい語句を選択できれば○と評価する。
(B) p.59 の本文を読み、初めて落語を見たジョイスが驚いたことを理解する。	初めて落語を見たジョイスが驚いたことを理解し、英語で話すことができる。			○		初めて落語を見たジョイスが驚いたことを理解し、英語で話せていれば○と評価する。
(B) pp.60-61 の本文を読み、「時そば」という落語をとおしてジョイスがわかったことや、魅了されたことが理解し、英語で話すことができる。	「時そば」という落語をとおしてジョイスがわかったことや、魅了されたことが理解し、英語で話すことができる。		○	○		「時そば」という落語をとおしてジョイスがわかったことや、落語をもう一度見たいと思った理由、魅了されたことが理解でき、英語で話せていれば○と評価する。
(B) レッスン全体の概要を理解し、英語で要約する。	レッスン全体の概要を理解し、英語で要約するために適切な語句を選び、音読することができる。		○	○		ペアまたはグループになり、レッスン全体の要約を完成し、適切に音読できれば○と評価する。また、retelling の橋渡しの活動として、read and look up を用いて口頭で伝え合うことにも取り組ませる。
(A) 使役動詞 (SVOC) の意味と用法を理解する。	使役動詞 (SVOC) の意味と用法を理解し、英語で話すことができる。				○	使役動詞 (SVOC) の意味と用法を理解し、p.63 の DRILL で日本語に合うように語を並べかえられれば○と評価する。
(B) p.64 の ACTIVITY 1 として、落語の 2 人以上の会話を 1 人で表現する。	落語の 2 人以上の会話を 1 人で表現することができる。		○	○		落語の 2 人以上の会話を 1 人で表現することを理解し、英語落語を演じることができれば○と評価する。
(B) p.65 の ACTIVITY 2 として、英語の小噺の場面や登場人物の心境を考えて、内容を理解する。	英語の小噺の場面や登場人物の心境を考えて、内容を理解し、英語で話すことができる。			○		英語の小噺の場面や登場人物の心境を考えて内容を理解し、英語で発表できれば○と評価する。その際に、扇子や手ぬぐいなどを用意して発表してもよい。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(B) pp.66-68 の本文を読み、落語「時そば」の場面や状況、登場人物の言動やその理由などについて、概要や要点を理解する。	ルビ訳を参考に、落語「時そば」の場面や状況、登場人物の言動やその理由などについて、概要や要点を理解し、英語で話すことができる。			○		ルビ訳を参考に、落語「時そば」の場面や状況、登場人物の言動やその理由などについて、概要や要点を理解することができる。また、ペアまたはグループで、本文に下線を引いたおもしろいと思ったところについて話し合い、本文を的確に理解していることがわかれば○と評価する。
(B) pp.68-71 の本文を読み、落語「時そば」の場面や状況、登場人物の言動やその理由などについて、概要や要点を理解する。	ルビ訳を参考に、落語「時そば」の場面や状況、登場人物の言動やその理由などについて、概要や要点を理解し、英語で話すことができる。			○		ルビ訳を参考に、落語「時そば」の場面や状況、登場人物の言動やその理由などについて、概要や要点を理解することができる。また、ペアまたはグループで、本文に下線を引いたおもしろいと思ったところについて話し合い、本文を的確に理解していることがわかれば○と評価する。
(B) p.71 の ACTIVITY として、本文の場面を想像しながら、気持ちを込めて朗読する。	本文の場面を想像しながら、気持ちを込めて朗読することができる。	○	○			本文の場面を想像しながら、内容や気持ちなどに応じた適切な速度や声の大きさ、リズムやイントネーションで音読できていれば○と評価する。 またグループで、そば屋、客、地の文に役割を分けて朗読の練習を行い、それぞれの気持ちを考え、適切な速度や声の大きさを朗読できていれば○と評価する。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

Let's Communicate 2 乗り換え案内をしよう

(配当時数：2時間)

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(B) p.73 の乗り換えを案内する対話を聞いて、内容を正しく理解する。	乗り換えを案内する対話を聞いて、内容を正しく理解することができる。			○		p.72 の路線図のワークシートで、対話の内容に沿って図中の上野駅から線を引き、正しく理解できていれば○と評価する。
(B) p.73 の乗り換え案内に関する対話の練習をする。	ジェームズと直子の立場で、相手に伝わるように対話することができる。		○			正確なリズムとイントネーションで対話が行われていれば○と評価する。
(B) p.73 の乗り換え案内に関する対話の応用練習をする。	本文の対話の下線部を入れ換え、ペアで協力して積極的に乗り換え案内に関する対話を続けることができる。	○	○			ペアによる対話が沈黙なくスムーズに、また意欲をもって積極的に行い、発表できれば○と評価する。また、ジェームズと直子の役を入れ替えたり、ペアを変えたりして、くり返し練習させる。Useful Expressions の表現を積極的に取り入れ、オリジナルの対話に取り組みせる。
(B) p.73 の「練習しよう」の状況に応じた対話を、路線図を使用して練習する。	乗り換え案内に関する表現を活用して、状況に応じた対話を行うことができる。		○			p.72 の路線図を用いて、ペアやグループで本文で学んだ表現を使い、自分の行きたい場所を選び、乗り換え案内の対話活動を行う。適切な表現が使える、英語で発表できれば○と評価する。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(B) p.74 の Warm-Up Listening として、スクリプトの音声を読み、日本の ODA の活動が描かれている話題の切手を選択する。	スクリプトの音声を聞き、日本の ODA の活動が描かれている話題の切手を選択することができる。	○		○		スクリプトの音声を聞き、日本の ODA の活動が描かれている話題の切手を選択できれば○と評価する。
(B) p.75 の本文を読み、日本はカンボジアへどのような援助をしているかを理解する。	日本はカンボジアへどのような援助をしているかを理解し、英語で話すことができる。			○		日本はカンボジアへどのような援助をしているかを理解でき、英語で話せていれば○と評価する。
(B) pp.76-77 の本文を読み、日本の援助によって建てられた「きずな橋」が、現地の生活にどのような影響を与え、人々にどのように受け止められているかを理解する。	日本の援助によって建てられた「きずな橋」が、現地の生活にどのような影響を与え、人々にどのように受け止められているかを理解し、英語で話すことができる。			○		日本の援助によって建てられた「きずな橋」が、現地の生活にどのような影響を与え、人々にどのように受け止められているかを理解し、英語で話せていれば○と評価する。
(B) レッスン全体の概要を理解し、英語で要約する。	レッスン全体の概要を理解し、英語で要約するために適切な語句を選び、音読することができる。		○	○		レッスンの概要をまとめることができれば○と評価する。また、キーワードを用いて、ペアまたはグループで retelling の準備的活動として、英文を作りまとめさせる。
(A) 「～, + 関係代名詞 (who(m), which)」の意味と用法を理解する。	「～, + 関係代名詞 (who(m), which)」の意味と用法を理解し、英語で話すことができる。				○	「～, + 関係代名詞 (who(m), which)」の意味と用法を理解し、p.79 の DRILL で適切な場所に関係代名詞節を入れ、英文を完成し発表できれば○と評価する。
(B) pp.80-81 の ACTIVITY として、日本が行っている世界の多くの国や地域への国際協力活動を理解する。	日本が行っている世界の多くの国や地域への国際協力活動を理解し、英語で話すことができる。	○	○	○		ペアまたはグループになり、日本の国際貢献でわかったことをメモでまとめた後、英語で発表できれば○と評価する。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

Lesson 8 Ken's Everlasting Challenge

(配当時数：6 時間)

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(B) p.84 の Warm-Up Listening として、スクリプトの音声を読み、適切な絵を選ぶ。	スクリプトの音声を聞き、適切な絵を選ぶことができる。	○		○		スクリプトの音声を聞き、適切な絵を選ぶことができれば○と評価する。
(B) p.85 の本文を読み、アメリカでミュージカル『王様と私』に出演する際に、渡辺謙さんがどのように思ったかを理解する。	アメリカでミュージカル『王様と私』に出演する際に、渡辺謙さんがどのように思ったかを理解し、英語で話すことができる。			○		アメリカでミュージカル『王様と私』に出演する際に、渡辺謙さんがどのように思ったかを理解し、英語で話せれば○と評価する。
(B) pp.86-87 の本文を読み、渡辺謙さんがどのように困難を克服し、アメリカでの成功に至ったかを理解する。	渡辺謙さんがどのように困難を克服し、アメリカでの成功に至ったかを理解し、英語で話すことができる。			○		渡辺謙さんがどのように困難を克服し、アメリカでの成功に至ったかを理解し、英語で話せれば○と評価する。
(B) レッスン全体の概要を理解し、英語で要約する。	レッスン全体の概要を理解し、英語で要約するために適切な語句を選び、音読することができる。		○	○		レッスンの概要をまとめることができれば○と評価する。また、キーワードを用いて、ペアまたはグループで retelling の準備的活動として、英文を作りまとめさせる。
(A) 分詞構文 (-ing 形) の意味と用法を理解する。	分詞構文 (-ing 形) の意味と用法を理解し、英語で話すことができる。				○	分詞構文 (-ing 形) の意味と用法を理解し、p.89 の DRILL で意味の通る英文になるように、適切な語を選ぶことができれば○と評価する。
(B) pp.90-91 の ACTIVITY として、今までに挑戦したことや、これから挑戦したいことについて発表する。	今までに挑戦したことや、これから挑戦したいことについて発表することができる。	○	○			ペアまたはグループになり、今までに挑戦したことや、これから挑戦したいことについて話し合い、英語で発表することができれば○と評価する。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(B) p.92 の Warm-Up Listening として、様々なエネルギーを使って走る自動車の説明を聞いて、適切な写真を選択する。	様々なエネルギーを使って走る自動車の説明を聞いて、適切な写真を選択することができる。	○		○		様々なエネルギーを使って走る自動車の説明を聞いて、適切な写真を選択することができれば○と評価する。
(B) pp.93-94 の本文を読み、山形県の高校生が取り組んだ「究極のエコカー作り」について理解する。	山形県の高校生が取り組んだ「究極のエコカー作り」について理解し、英語で話すことができる。			○		山形県の高校生が取り組んだ「究極のエコカー作り」について理解することができ、英語で話せれば○と評価する。
(B) pp.94-95 の本文を読み、使う電気も自分たちで作る「究極のエコカー作り」の過程で、高校生が学んだことを理解する。	使う電気も自分たちで作る「究極のエコカー作り」の過程で、高校生が学んだことを理解し、英語で話すことができる。			○		使う電気も自分たちで作る「究極のエコカー作り」の過程で、高校生が学んだことを理解し、英語で話せれば○と評価する。
(B) レッスン全体の概要を理解し、英語で要約する。	レッスン全体の概要を理解し、英語で要約するために適切な語句を選び、音読することができる。		○	○		レッスンの概要をまとめることができれば○と評価する。また、キーワードを用いて、ペアまたはグループで retelling の準備的活動として、英文を作りまとめさせる。
(A) 〈If+過去形～, 主語+would [could] ...〉の仮定法過去の意味と用法を理解する。	〈If+過去形～, 主語+would [could] ...〉の仮定法過去の意味と用法を理解することができる。				○	〈If+過去形～, 主語+would [could] ...〉の仮定法過去の意味と用法を理解し、p.96 の DRILL で日本語に合うように適切な語を選び、英文を完成できれば○と評価する。
(B) pp.98-99 の ACTIVITY の Listening と Reading として、米沢工業高校の取り組みを聞き、内容に合う英文を選択する。また、英語の文章を読み、内容に合う英文を選択する。	米沢工業高校の取り組みを聞き、内容に合う英文を選択することができる。また、英語の文章を読み、内容に合う英文を選択することができる。		○	○		米沢工業高校の取り組みを聞き、内容に合う英文を選択ことができ、また、英語の文章を読み、内容に合う英文を選択することができれば○と評価する。グループでプロジェクトについてわかったことについて話し合い、自分の意見や感想を英語で発表することにも取り組ませる。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

Let's Communicate 3 レストランで注文しよう

(配当時数：2時間)

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(B) p.100 のレストランで料理を注文するときの対話を聞き、理解する。	レストランで料理を注文するときの対話を聞き、的確に理解することができる。	○		○		レストランで料理を注文するときの対話を聞き、的確に理解することができれば○と評価する。
(B) p.100 のレストランでの対話を相手に伝えるように音読する。	ペアでレストランでの対話の音読を行い、相手に伝えるように音読ができる。		○			給仕人と千佳の対話を CD の音声モデルにして、リズムやイントネーションに注意しながら音読できていれば○と評価する。
(B) p.100 の Useful Expressions の表現を理解する。	レストランで注文するための基本的な表現を理解することができる。		○			ペアで本文と Useful Expressions で学んだ表現を使い、レストランで注文するための表現を利用してオリジナルの対話活動を行い、発表できれば○と評価する。
(B) p.101 のメニューを使い、ペアでレストランでの対話をする。	メニューを見て、注文したり、注文を受けたりすることができる。		○	○		本文と Useful Expressions の表現を利用してペアで給仕人・客の役割を決め、レストランでの対話を行い、メニューを見て注文したり、注文を受けたりすることができ、発表できれば○と評価する。
(B) p.101 のメニューを使い、レストランでの対話に、食後のデザート注文する場面を加えて対話する。	メニューを見て、注文したり、注文を受けたりことができ、さらに食後のデザートも注文する対話することができる。	○	○	○		本文と Useful Expressions の表現を利用してペアで給仕人・客の役割を決め、食後のデザート注文する場面を入れたレストランでの対話を行い、メニューを見て注文したり、注文を受けたりすることができ、発表できれば○と評価する。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

Reading 2 Why Don't You Study a Foreign Language?

(配当時数：8時間)

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(B) p.104 の本文を読み、日本とヨーロッパ諸国との言語使用の違いについて理解する。	日本とヨーロッパ諸国との言語使用の違いについて理解し、英語で話すことができる。			○		日本とヨーロッパ諸国との言語使用の違いについて理解することができ、英語で話せれば○と評価する。
(B) p.105 の本文を読み、複数言語使用の利点を理解する。	複数言語使用の利点を理解し、英語で話すことができる。			○		複数言語使用の利点を理解することができ、英語で話せれば○と評価する。
(B) p.106 の本文を読み、複数言語使用者が 2 つの観点から文章を説明することを理解する。	複数言語使用者が 2 つの観点から文章を説明することを理解することができる。			○		複数言語使用者が 2 つの観点から文章を説明することを理解することができれば○と評価する。
(B) p.107 の本文を読み、最近発見された複数言語使用者の利点を理解する。	最近発見された複数言語使用者の利点を理解し、英語で話すことができる。			○		複数言語使用者の最近発見された利点を理解することができ、英語で話せれば○と評価する。
(B) pp.108-109 の本文を読み、複数言語を学ぶことの利点を理解する。	複数言語を学ぶことの利点を理解し、英語で話すことができる。			○		複数言語を学ぶことの利点を理解することができ、英語で話せれば○と評価する。
(B) pp.104-109 の本文を相手に伝わるように音読する。	相手に伝わるように、正確に音読することができる。		○			音声 CD をモデルに、正確なリズムとイントネーションで音読できていれば○と評価する。
(B) p.109 の After Reading として、本文の内容に合う適切な英文を選ぶ。	After Reading として、本文の内容に合う適切な英文を選ぶことができる。			○		After Reading として、本文の内容に合う適切な英文を選ぶことができれば○と評価する。
(B) 母国語以外の言語を学ぶことへの利点について理解する。	母国語以外の言語を学ぶことへの利点について理解し、英語で話すことができる。	○	○		○	ペアやグループで外国語を学ぶことの利点や意義を理解し、英語で発表できれば○と評価する。また、p.109 の After Reading 2, 3 にも取り組ませる。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(B) pp.110-111 の説明を読み、地図から適切な各州の位置を理解する。	説明を読み、地図から適切な各州の位置を理解することができる。			○		説明を読み、地図から適切な各州の位置を理解することができれば○と評価する。
(B) 説明されている 5 つの州の概要や要点をつかむ。	説明されている 5 つの州の概要や要点をつかむことができる。			○		説明されている 5 つの州の概要や要点をつかむことができれば○と評価する。
(B) ペアまたはグループになり、インターネットなどを使い、アメリカの他の州を説明する英文を作る。	ペアまたはグループになりインターネットなどを使い、アメリカの他の州を説明する英文を作ることができる。		○			ペアまたはグループになりインターネットなどを使い、アメリカの他の州を説明する英文を作ることができ、発表できれば○と評価する。
(B) 各ペアまたはグループで完成した州の説明文を発表し、dictogloss に取り組む。	各ペアまたはグループで完成した州の説明文を発表し、dictogloss に取り組み説明文を完成することができる。	○	○	○		各ペアまたはグループで完成した州の説明文を発表し、dictogloss に取り組み説明文を完成することができれば○と評価する。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

Further Activities Lesson 2

(配当時数：2 時間)

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(B) p.112 の説明文を読み、設問に答えながら概要や要点を理解する。	説明文を読み、設問に答えながら概要や要点を理解することができる。			○		説明文を読み、設問に答えながら概要や要点を理解することができれば○と評価する。
(B) 説明文を意味のまとまりに注意して音読する。	説明文を意味のまとまりに注意して音読することができる。		○	○		説明文を意味のまとまりに注意して音読することができれば○と評価する。
(B) ペアになり写真などを用いて、日本のものを外国人に説明する。	ペアになり写真などを用いて、日本のものを外国人に説明することができる。		○		○	ペアになり写真などを用いて、日本のものを外国人に説明する英文を完成し、発表できれば○と評価する。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

Further Activities Lesson 3

(配当時数：2 時間)

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(B) 読書介助犬に関するインタビューを聞き、下線部に適語を入れる。	読書介助犬に関するインタビューを聞き、下線部に適語を入れることができる。			○		読書介助犬に関するインタビューを聞き、下線部に適語を入れることができれば○と評価する。
(B) ペアになり、インタビューの対話を相手に伝えるように音読する。	インタビューの対話を相手に伝わるように音読することができる。		○			インタビューの対話を相手に伝わるように音読することができれば○と評価する。
(B) ペアまたはグループになり、読書介助犬が実際にそばにいたらどういう気持ちになるかを話し合う。	ペアまたはグループになり、読書介助犬が実際にそばにいたらどういう気持ちになるかを話し合うことができる。	○	○			ペアまたはグループになり、読書介助犬が実際にそばにいたらどういう気持ちになるかを話し合い、英語で発表できれば○と評価する。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

Further Activities Lesson 5

(配当時間：4時間)

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(B) pp.114-115 の世界の挨拶のしかたについての文章を読み、Comprehension の設問に答えながら概要や要点を理解する。	世界の挨拶のしかたについての文章を読み、Comprehension の設問に答えながら概要や要点を理解することができる。			○		世界の挨拶のしかたについての文章を読み、Comprehension の設問に答えながら概要や要点を理解することができれば○と評価する。
(B) ペアまたはグループになり、retelling に取り組む。	ペアまたはグループになり、retelling に取り組むことができる。		○	○		ペアまたはグループになり、retelling に取り組み、発表できれば○と評価する。
(B) ペアまたはグループになり、文化が異なると起こる動作や仕草などの違いについて話し合う。	ペアまたはグループになり、文化が異なると起こる動作や仕草などの違いについて話し合うことができる。	○	○		○	ペアまたはグループになり、文化が異なると起こる動作や仕草などの違いについて話し合い、英語で発表できれば○と評価する。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(B) pp.116-117 のミュージカル『王様と私』の台本を読んで、どんな作品かを理解する。	ミュージカル『王様と私』の台本を読んで、どんな作品かを理解することができる。			○		ミュージカル『王様と私』の台本を読んで、どんな作品かを理解することができれば○と評価する。
(B) ペアになり、アンナと王様の役になって2人の対話を音読する。	ペアになり、アンナと王様の役になって2人の対話を音読することができる。		○			ペアになり、アンナと王様の役になって相手に気持ちが伝わるように対話を音読することができれば○と評価する。
(B) ペアまたはグループになり、好きな場面や意見、感想を話し合う。	ペアまたはグループになり、好きな場面や意見、感想を話し合ったりすることができる。	○	○			ペアまたはグループになり、好きな場面や意見、感想を話し合い、英語で発表できれば○と評価する。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

Further Activities Lesson 9

(配当時数：4 時間)

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(B) pp.118-119 のウェブサイトの記事を読み、米沢工業高校の生徒の活動について理解する。	ウェブサイトの記事を読み、米沢工業高校の生徒の活動について理解することができる。			○		ウェブサイトの記事を読み、米沢工業高校の生徒の活動について理解できれば○と評価する。
(B) 米沢工業高校の生徒の活動が相手に伝わるように音読する。	米沢工業高校の生徒の活動が相手に伝わるように音読することができる。		○			米沢工業高校の生徒の活動が相手に伝わるように音読することができるのであれば○と評価する。
(B) ペアまたはグループになり、環境問題に取り組んでいる他の活動について調べる。	ペアまたはグループになり、環境問題に取り組んでいる他の活動について調べることができる。	○	○			ペアまたはグループになり、環境問題に取り組んでいる他の活動について調べ、英語で発表できれば○と評価する。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

つなぎことば

(配当時数：1時間)

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A) さまざまな「つなぎことば」の意味について理解する。	さまざまな「つなぎことば」の意味について理解することができる。			○	○	さまざまな「つなぎことば」の意味について理解し、適切に表現できれば○と評価する。
(A) さまざまな「つなぎことば」が、文の中でどのように使われているか理解する。	さまざまな「つなぎことば」が、文の中でどのように使われているか理解することができる。		○	○		さまざまな「つなぎことば」が、文の中でどのように使われているか理解し、話の展開がわかりやすくなることを理解できれば○と評価する。
(A) ペアまたはグループになり、いろいろな「つなぎことば」を使って英文を作る。	ペアまたはグループになり、いろいろな「つなぎことば」を使って英文を作ることができる。		○			ペアまたはグループになり、いろいろな「つなぎことば」を使って英文を作り、発表できれば○と評価する。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解